



現在、長久手市では、環境施策の最も基本となる『環境基本計画』の改定作業を進めています。今年度は、「すでにこんなことやってるよ!」「こんなことならできるかも?」「こんなことに取り組んでみたい!」など、市民の皆さんに環境をテーマに創造的に話し合ってもらえる機会として、“長久手の環境を学ぶ見学会”を全4回開催します。

第1回は、ごみ処理施設晴丘センターを見学して、私たちが出すごみがどのように処理されているのかを学びました。そして、参加者の間で、私にもできるごみの減量化・資源化について意見を出し合いました。



④中央制御室

一般の見学会では入れない中央制御室にも入って説明を受けました。焼却炉はこの制御室を通して24時間体制で運転されています。

夏休み期間中の開催とあって、参加者17名中、小中学生が半数以上を占めました。

見学会の前半は、晴丘センターの施設概要と長久手市のごみ排出の現状について簡単にレクチャーを受けたあと、施設全体を見て回りました。

後半は、“私にもできるごみの減量化・資源化”をテーマに、すでに各家庭で取り組んでいること、これから取り組めそうなことについて意見を出し合い、最後に私のごみ減量宣言を行いました。

1. レクチャー（施設概要及び長久手市のごみの現状）

分別ってカッコイイ

一人ひとりの行動が大きな力に!



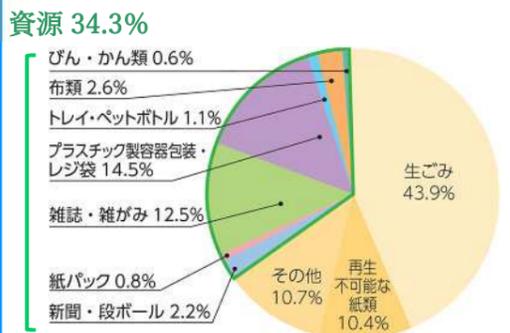
●レクチャー

《レクチャーで学んだこと》

- 晴丘センターが毎年処理するごみの量は約69,400トン/年。(ドラえもん53万体に相当)
- 3市(瀬戸市、尾張旭市、長久手市)全体では市民一人一日当たりのごみ排出量は704g/人日。長久手市は732g/人日でやや多い。
- ごみの量は以前と比較すると減少している。
- ごみは燃やして、その焼却灰を埋め立てている。最終処分場はあと28年で一杯になる。
- もえるごみの1/3はプラスチックや雑紙などの資源ごみ。
- 晴丘センターでは、ごみを燃やした熱で発電している。その発電量は平均世帯2,500世帯分/年の発電量に相当する。

長久手市のごみについて(組成調査)

もえるごみ袋の中はどうなっているの?



⇒これだけの資源がまだ分別できます!

2. 施設見学



①施設の模型



②不燃粗大ごみ前選別処理



③ごみピット(可燃ごみ)



③ごみピット(可燃ごみ)

①施設の模型

●見学する施設について、模型で全体の位置関係を学びました。
※煙突の高さは59mです。航空法の規制ならびに近隣住宅地への影響を考慮してこの高さになりました。

②不燃粗大ごみ前選別処理

●スプレー缶、ガスボンベ、ライターなど爆発の恐れのあるものは手作業で確認して取り除いています。
※丁寧に選別していますが、それでも破碎時の火災事故は0にはなりません。事前に選別除去することはとても大事なことです。

③ごみピット(可燃ごみ)

●収集車が集めてきたもえるごみは、この可燃ごみのピットに入れられます。ピットは深さ40mのとても大きなごみ箱です。
●クレーンが通常は自動で稼働して、ごみのかくはん、焼却炉への搬入を行っています。
●焼却炉を運転しなければ、この大きなごみ箱が1週間で一杯になります。

④中央制御室(上の写真)

●複数のモニター画面を見ながら、ごみの燃焼、排気ガスの状態などをコントロールしています。

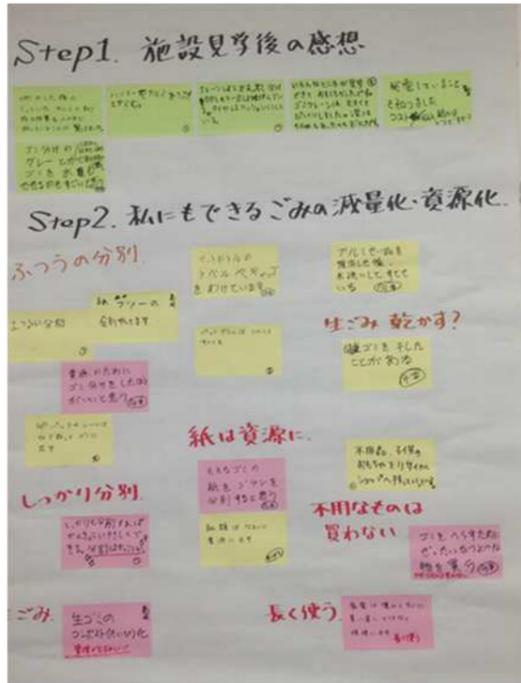
3. ワークショップ ～私にもできるごみの減量化・資源化～



ワークショップでは、施設見学の感想をのべたあと、ごみの減量化・資源化に関して、①各家庭ですでに取り組んでいること、②これから取り組みたいこと・取り組まなくてはならないと思ったことについて、皆で意見を出し合いました。

Step 1 施設見学後の感想 (抜粋)

- ごみを出してからの流れを知ることができ、見学も初めてできて、とても貴重な時間でした。
- ごみを燃やした後、焼却炉にくっついたアルミの取り除き作業を人の手で行っていることは驚きました。
- ごみクレーンは大きくてびっくりしました。ピットの深さも40mもありすごかったです。
- 発電していることを知りました。
- 24時間モニターで監視していることがすごかった。



Step 2 私にもできるごみの減量化・資源化 (抜粋)

《各家庭ですでに取り組んでいること》

- ふつうに分別。なるべく分別している。
- 紙類はなるべく資源に出す。
- ペットボトルのラベル・キャップを分けて出す。
- アルミ製品は水洗いしてから捨てている。
- 不用品はリサイクルショップに持って行く。

Step 2 私にもできるごみの減量化・資源化 (抜粋)

《これから取り組みたいこと・取り組まなくてはならないと思ったこと》

- しっかり分別する。しっかり分別すれば環境にやさしくできる。分別はカッコイイ!
- アルミやラップなどの小さな物もしっかり分けたい。雑紙を分けるよう気を付ける。
- ごみを減らす工夫をする。不要なものは買わない。絶対必要なものを買う。
- 家電は長く使う。壊れてすぐ買い直すのではなく、修理に出す。
- 燃やしてはいけないもの(危険物)について、家でも確認していきたい。

Step 3 私のごみ減量宣言 (抜粋)

- 私は、ごみの減量化・資源化に向けて、**小さな物から分別すること**に取り組んでみようと思います。
- 私は、ごみの減量化・資源化に向けて、**もう少し、ていねいに分別**します。
- 私は、ごみの減量化・資源化に向けて、**雑紙の分別をもっと頑張る(資源ごみに回す)**ことに取り組んでみようと思います。
- 私は、ごみの減量化・資源化に向けて、**必要なものか、他で代用できるか考えてから手に入れること**に取り組んでみようと思います。

番外編. 絵日記作成

参加していただいた子どもたちには、ワークショップの時間に、絵日記作成に取り組んでもらいました。



さいごに SDGsって知ってる?

国連が提唱する『持続可能な開発目標 (SDGs)』って知っていますか? 一人ひとりが取り組む小さな環境行動がSDGsの17の目標に貢献していくことを学びました。

最後に、「みんなでつくる ながくてSDGsの森」の1本目の木をSDGsシールで満開にして見学会を終えました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



参加者全員で記念撮影



第1回見学会なので1本の木をシールで満開にしました。見学会を重ねるごとにSDGsの木を増やしていきます。

第2回は、『生態系保護エリア東山の谷津田の見学会』を9月15日(日)に開催します。

第3回は、『とよたエコフルタウン・ガイドツアー』を11月30日(土)に開催します。気楽にご参加ください。